

土砂災害

いざ 小山町防災マップ という時のために！

「日頃の備え」と「早めの避難」いのちを守る防災情報

大雨、地震……。土砂災害は身近な災害です。

まさかに備え、わたしたちの家のまわりの危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。

土砂災害ってどんなもの？

土石流

あつという間に、大きな石や
土砂があそってくる。

▼土石流って知っている？

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって、どのようにあそてくるのかを、土石流といいます。土石流の先頭の部分は、大きな石や岩、木などが集まって小山のようにもり上がっています。その早さは、時速20キロメートルから40キロメートルと、自動車のみのスピードです。なかには2倍の数倍もある大きな岩がまじったものもあり、すさまじいおいでの、あつという間に家や田畠をしつし、おし流してしまいます。



●看板でお知らせしています。



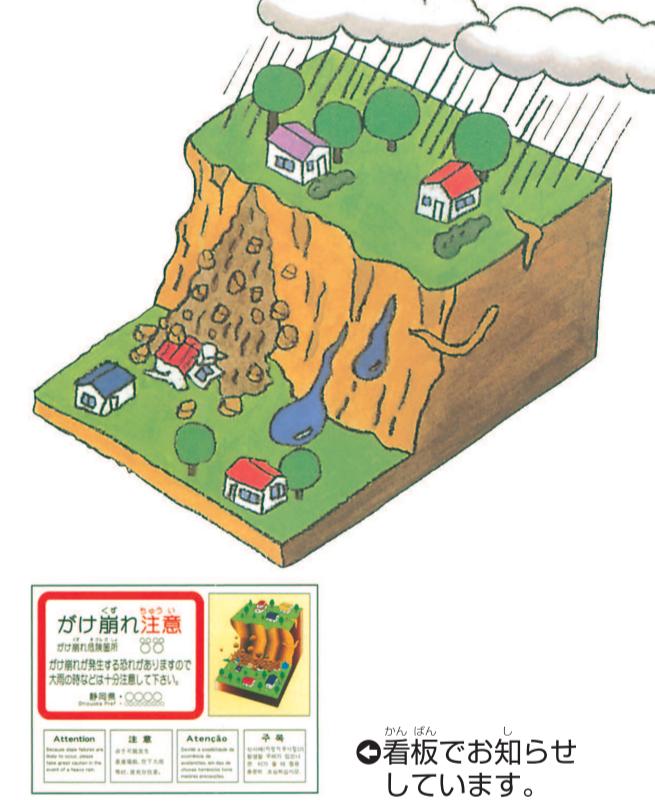
こんな所が危険です！
●谷川に大きな石がごろごろあるところ。
●裏山に急な谷川があるところ。
●過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してきた扇状地のところ。

がけ崩れ

とつぜん、岩や土砂が
ガラガラと落ちる。

▼がけ崩れってどんなもの？

がけ崩れは、斜面がとつぜん崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2倍くらいの距離までとどくことがあります。がけ崩れは、地震や、大雨や長雨で地面に水たまりがこなでて起きますが、地すべりどちらがこなでて起きると、とつぜん起き、スピードが速いことなどです。家の近くで起きたと、逃げ出される人が多く、たいせつな命が失われたり、家がわざわざします。あぶないを感じたら、できるだけ早くしなんするかがまえが大切です。



●看板でお知らせしています。



こんな所が危険です！
●がけにひび割れが発生しているところ。
●かけの上部がせり出しているところ。
●急ながけで高いところ。
●がけから水がわき出したり、がけの表面を水が流れているところ。

地震対策はお済みですか？



東海地震の被害想定
家屋の耐震診断・補強を！
ガラスの飛散防止を！
水・食料の備蓄を！
あなたの家は、避難の必要な地域？
大地震の後は電話が混み合ってかかりにくい!
大地震の種類(現段階に○)
家具の転倒防止を！
非常持出し品！
ブロック塀の耐震改修を！
地震で死を防ぐ為に
家庭内対策が必要です！

ガラスの飛散防止を！
市町村役場へ問い合わせよう！
家具・家庭の転倒・倒壊等による
庄死・窒息死 83.7%
ブロック塀の耐震改修を！
定期的に点検しよう！
必要に応じて撤去・改修を！
被助制度があります。
市町村役場へ問い合わせよう！
市町村によって担当部署が異なります。

水・食料の備蓄を！
あなたの家は、避難の必要な地域？
大地震の後は電話が混み合ってかかりにくい!
大地震の種類(現段階に○)
家具の転倒防止を！
非常持出し品！
ブロック塀の耐震改修を！
地震で死を防ぐ為に
家庭内対策が必要です！

土砂災害110番（土砂災害が起きそうなときや、発生したときには連絡を！）

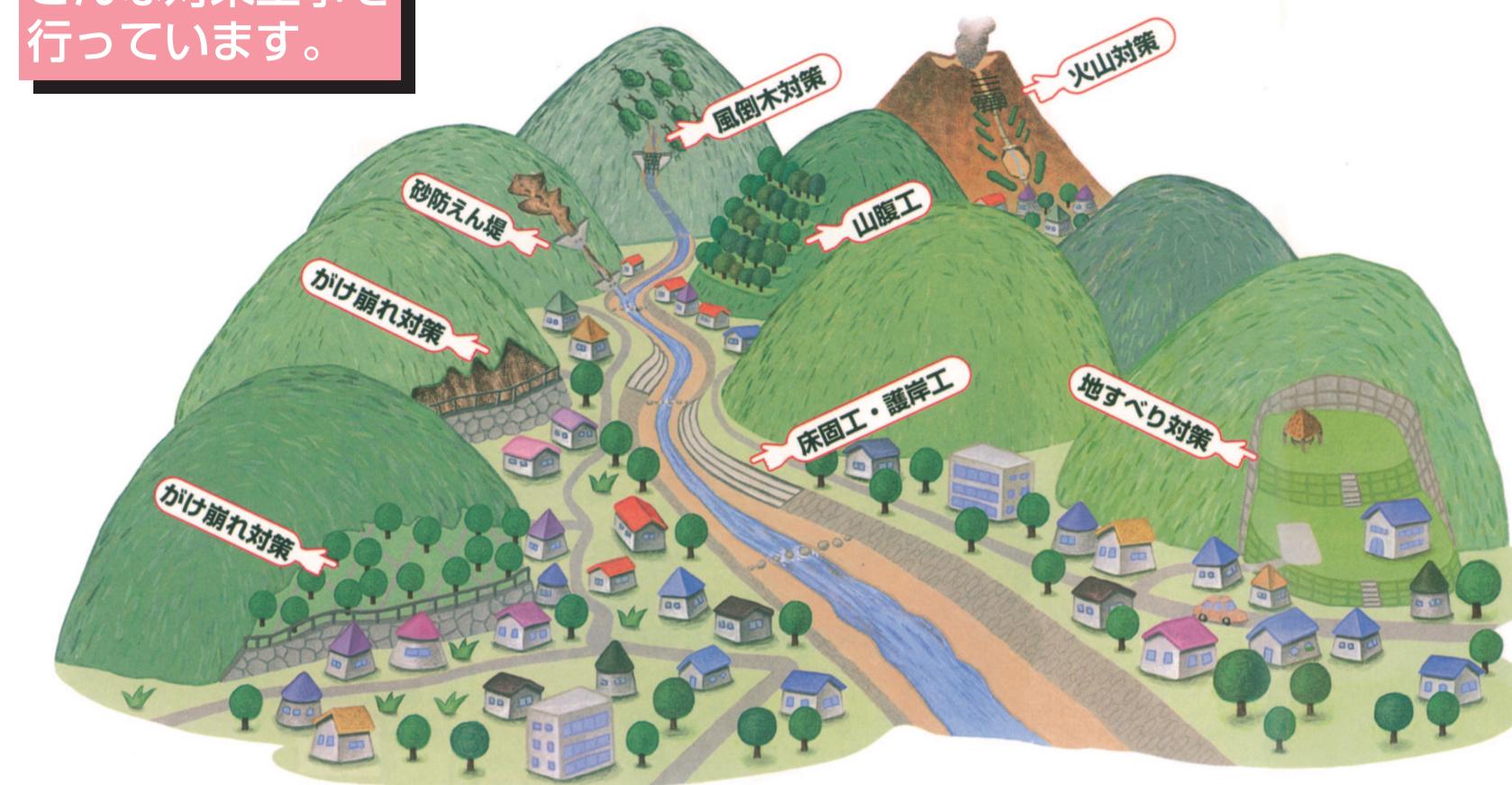
お問い合わせは 小山町役場 建設課 ☎ 0550-76-6115
静岡県 沼津土木事務所 企画検査課 ☎ 055-920-2211
静岡県 交通基盤部 砂防課 ☎ 054-221-3044

我が家家の防災メモ（記入してください）

避難場所：
緊急時の連絡先：

土砂災害を防ぐためには…

こんな対策工事を
行っています。



土石流対策の砂防えん堤



がけ崩れ対策のよう壁

いざ という時の 心構え

●雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨から起ります。大雨や長雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。災害が起きた時、家族が全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。



●避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族が全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。



●逃げ方を知っていますか？

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れは必ず背にして逃げるように逃げましょう。



注1 表はこの強さの雨が1時間降り続いた場合の目安を示しています。この表を使用される際は、以下の点にご注意ください。

表に示した雨量が同じであっても、降り始めから総雨量の違う地域や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表はある雨量に対する警戒度を示すもので、必ずしも記述しているだけで、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が降ると予想される時は、大雨注意報や大雨警報を発表して注意や警戒を呼びかけます。なお、注意報や警報の基準は地域によって異なります。

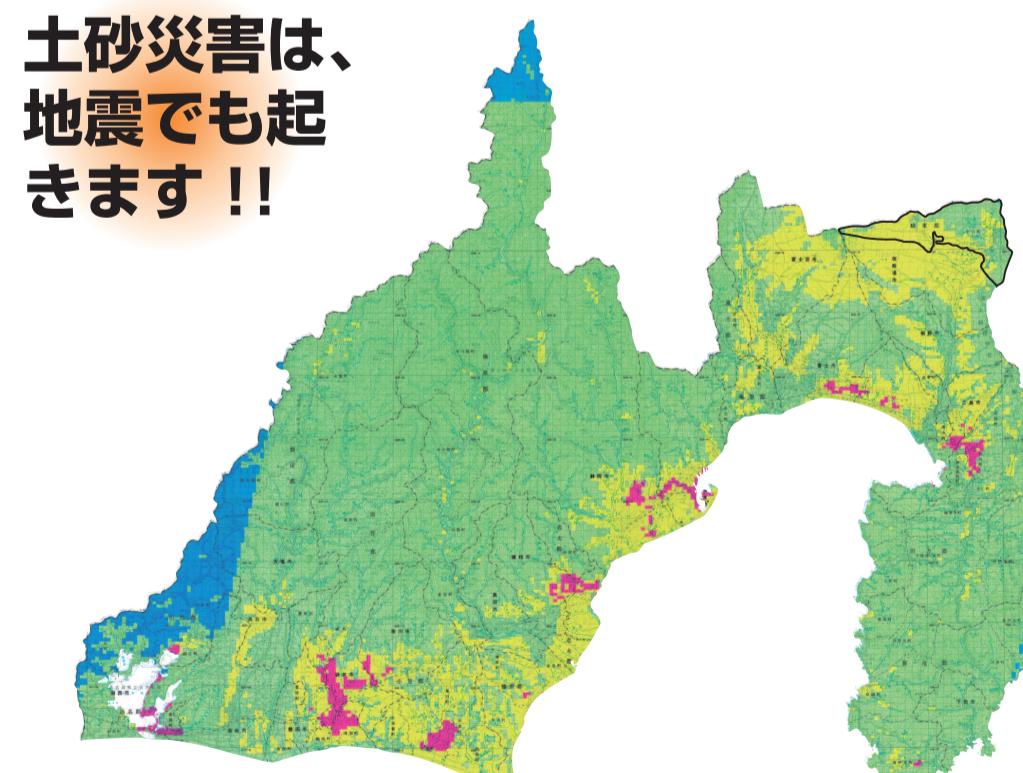
猛烈な雨が記録された場合、「記録的短時間大雨情報」が発表されることがあります。なお、情報の基準は地域によって異なります。

この表は主に近年発生した被害の事例から作成したものです。今後新しい事例が得られたら、表現など実状と合わなくなったら場合には内容を変更することがあります。

雨の強さと降り方

1時間雨量(ミリ)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーバーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる 傘をさしていてもぬれる	雨の音で踏み声が良く聞これない 寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20~30	強い雨	どしゃ降り	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	朝潮や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50	激しい雨	パケツをひっくり返したように降る	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	地面一面に水たまりができる	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る(ほどこと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる	車の運転は危険	車の運転は危険	車の運転は危険	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから雨水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	恐怖を感じる				雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

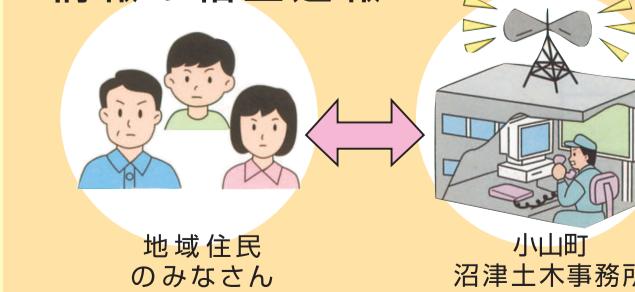
土砂災害は、地震でも起きります！



震度分布図

東海地震による推定震度分布（静岡県第3次被害想定）【平成13年5月公表】
※警戒宣言が発令されたときは、避難対象地区（急傾斜地前傾危険箇所など）における避難場所を定める避難地に速やかに避難してください。

情報の相互通報



事前に、避難場所、連絡先の確認をしておきましょう。

気象情報や、小山町役場からのお知らせに注意しましょう。

危ないと感じたら、早めの避難をしましょう。

土砂災害が起きそうなときや、発生したときには、土砂災害110番まで連絡を！
皆さんのがモニターです。